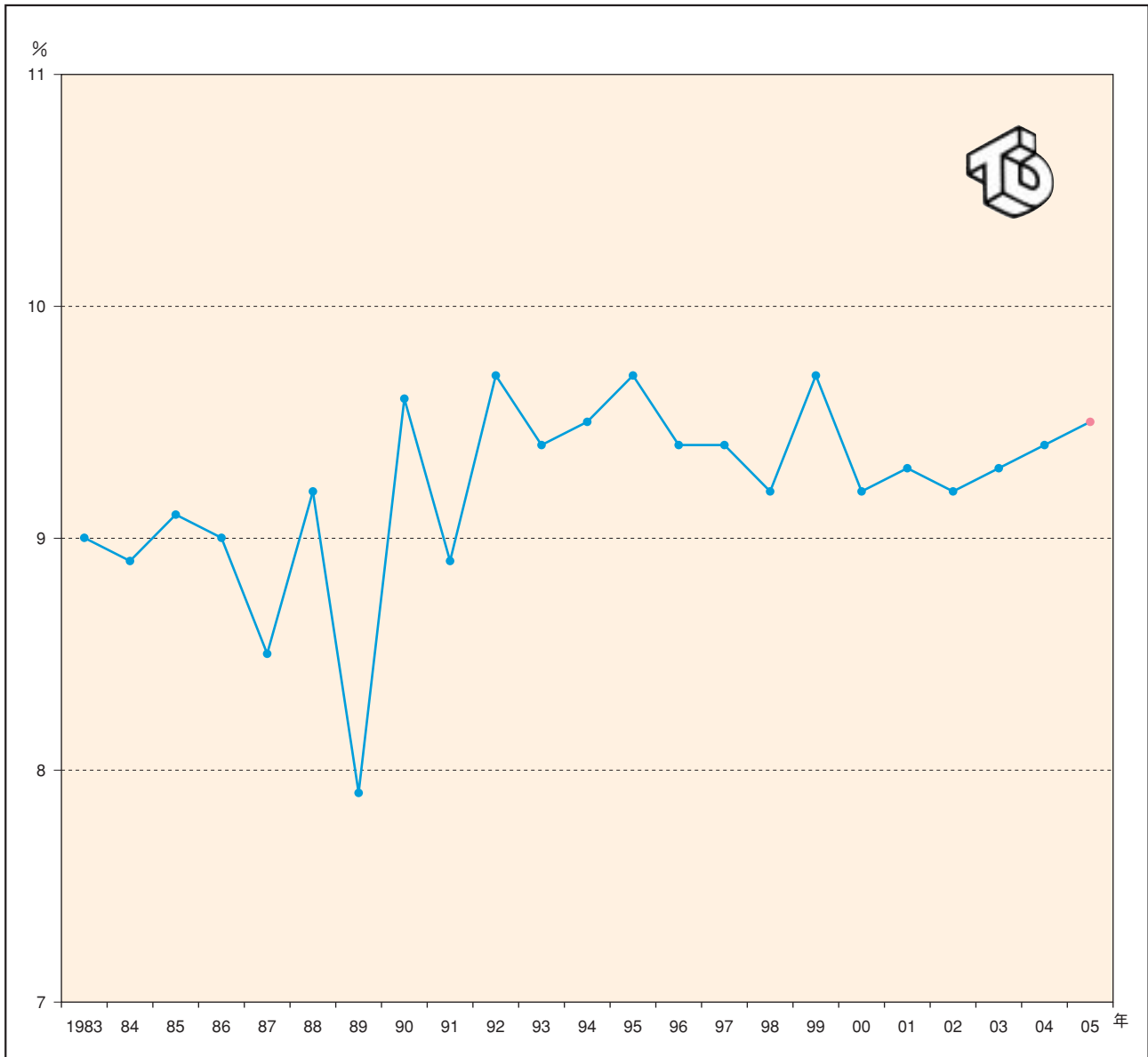


6) 年間粗死亡率と生存率

(1) 年別粗死亡率の推移 (図表20)



年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993
粗死亡率	9.0	8.9	9.1	9.0	8.5	9.2	7.9	9.6	8.9	9.7	9.4

年	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
粗死亡率	9.5	9.7	9.4	9.4	9.2	9.7	9.2	9.3	9.2	9.3	9.4	9.5

解説

1983年以降の粗死亡率

この10年間の粗死亡率は、9.2～9.7%の状態が維持され、全体的には透析の管理が十分行われていることを示しています。2005年末における年間粗死亡率は9.5%であり、この4年間で増加傾向がみられます。この理由は高齢者の増加と糖尿病や長期透析治療による合併症の増加が影響すると考えられます。しかし、粗死亡率は10%以内にとどまっており、良好な医療管理が行われていると評価されます。将来的には粗死亡率が増加するのはやむを得ないと思われれます。